



元気いっぱい ■ 青空の下、多彩な催しで盛り上がりました  
春のゆめちゃんまつり



第4回春のゆめちゃんまつりが、5月3日(日)にゆめちゃんハウス周辺で開催されました。前日の2日(土)にも開催を予定しておりましたが、暴風警報の発令により中止。当日は、一転して絶好の



ミニ電車に乗って出発進行

行楽日和となり、市内外から訪れた多くの家族連れで賑わいました。会場では、ライブステージをはじめ、ドローン操縦体験やミニ電車の運行、ボールプールなど多彩な催しを実施。草ソリコーナーでは、爽やかな風を切りながら滑り降りる子どもたちの元気な声が響き渡りました。

草ソリを楽しんでいた高橋美羽さん(釜石市)は「ソリを上手に滑れて楽しかった。ミニ電車も面白かったし、ドローン体験も楽しみ」と笑顔で話していました。

楽しくスイミング ■ 子どもから大人までみんなで楽しむスイムデー  
萩野公介選手選手による水泳教室を開催しました



リオ五輪競泳男子金メダリストの萩野公介さんによる水泳教室が、5月10日(日)に、夢アリーナたかたで開催され、子どもから大人まで約50人の市民が参加しました。



萩野さんから楽しく泳ぎのコツを学びました

本教室は、陸前高田パラスポーツフェスティバル実行委員会が主催。年齢や障がいの有無に関わらず幅広い人にスポーツの楽しさを伝えるために開催され、参加者は、萩野さんから泳ぐときに意識することやクイックターンの仕方などを実演を交えて指導を受けました。

参加した蒲生つなぐさん(広田小1年)は、「いつもより楽しく泳ぐことができた。萩野さんのようにかっこよく速く泳げるようになりたい」と目を輝かせていました。

夢中で田植え ■ だろんこになって笑顔満開  
たかたのゆめ田植え式



田植えを楽しみました

市の地域ブランド米「たかたのゆめ」の田植え式が、5月16日(土)に米崎町の市ライスセンターをメイン会場に開催され、市内外から約40人が参加しました。

当日はお楽しみ企画として「だろんこフラッグス」を開催。田植え会場となった田んぼに旗が設置され、素早く丁寧な苗を植え進め、旗を手にした8人に「たかたのゆめ」1キロが贈られました。田植えを楽しんだ後には、3種類の具材を使ったおにぎりが振る舞われ、参加者は大満足の様子でした。

参加した鎌田迅さん(大船渡市)は「初めての田植えで転びそうになったけど、楽しかった。サーモンゆずみそのおにぎりがおいしかった」と表情をほころばせていました。

親しまれる場所へ ■ 地域に親しまれ、笑顔が広がる場所へ  
はまっこ広場お披露目会



はまっこ広場で遊ぶ子どもたち

広田地区コミュニティセンターの隣に整備された「はまっこ広場」のお披露目会が4月28日(火)、現地で開催され、広場の整備に携わった関係者や広田保育園の園児など約50人が参加し、遊び場の完成を祝いました。

本広場の愛称である「はまっこ広場」には、地域のイメージと、子どもたちに親しんでほしいという願いが込められています。お披露目会では、広場に設置された遊具の前でテープカットが行われた後、園児たちが元気いっぱいのダンスを披露しました。

園児たちは「コミセンに遊具ができてうれしいです。お友達やおうちの人とたくさん遊びます」と声を合わせて元気に挨拶。閉会后には、早速遊具や広場で遊びまわる子どもたちの明るい声が響き渡りました。

世代つなぐ拠点に ■ 人と人とのつながり、命の大切さを実感できる場を目指して  
陸前高田レインボーハウス譲渡式



ツバキを植樹する村田会長(右)と佐々木市長(左)

陸前高田レインボーハウスの譲渡式が、4月28日(火)に同施設で行われ、一般財団法人あしなが育英会や市の関係者など約40人が参加しました。

同施設は、平成26年にあしなが育英会が建設。その後、東日本大震災で被災した方々や子どもたちの「心のケア」の拠点として活用されてきました。譲渡式では、同会の村田治会長から佐々木市長へ目録が手渡された後、両氏によるツバキの記念植樹が同施設の敷地内で行われました。

村田治会長は「子どもから高齢者まで幅広い世代が交流する場所として機能し、レインボーハウスが末永く利用されることを願う」と思いを語りました。

開園5周年 ■ 5年の歩みを来場者と分かち合う  
陸前高田ワタミオーガニックランドで開園5周年記念イベントを開催



空からの眺めを満喫しました

陸前高田ワタミオーガニックランドの開園5周年を記念するイベントが、4月29日(水・祝)に同ランドで開催され、市内外から訪れた多くの来場者で賑わいました。

早朝の熱気球搭乗体験では、来場者が上空15~20メートルまで浮上し、普段は見る事ができない高さからのパノラマを満喫。また、会場では5年前の開園時に植樹されたブドウを使ったワインが初めて一般販売され、注目を集めました。

家族で訪れた廣木裕さん(南三陸町)は、「子どもが熱気球に興味があったので来場した。空高く上がる熱気球で、子どもたちが楽しそうにしている姿を見られて良かった」と充実した表情を見せていました。